

令和6年度 第2回学校関係者評価委員会議事録

日 時：令和7年3月28日（金）15:00～17:00

場 所：国際医療福祉専門学校七尾校 2階会議室

委員名：	谷一 勝信	（七尾市役所 健康福祉部 部長）
	津田 博美	（社会福祉法人 七尾市社会福祉協議会 会長）
	中村 幹泰	（在学生保護者・後援会 会長）
	沖崎 琴	（特別養護老人ホーム あかかみ 理学卒業生）
	岩島 誠	（公立能登総合病院 理学卒業生）
	沖崎 孝裕	（市立輪島病院 作学卒業生）
	皆川 直樹	（津幡町消防署 救命卒業生）
	村田 敏子	（自立ホームけいじゅ 介護卒業生）
	花田 邦和	（国際医療福祉専門学校七尾校 学校長）
	玉村 豊和	（国際医療福祉専門学校七尾校 救急救命学科）
	由久保 弘明	（国際医療福祉専門学校七尾校 理学療法学科）
	石毛 巖	（国際医療福祉専門学校七尾校 理学療法学科）

議事内容

1. 学校行事および取り組み活動・成果報告
2. 各学科の報告について
3. 学生募集と成果（令和7年度入学見込み者数など）
4. その他

1. 学校行事および取り組み活動・成果報告について資料をもとに説明を行った。

令和6年1月1日の能登半島地震地震による被災により影響を受け令和6年度において内容

- ① 仮設トイレ（全員対象）、仮設シャワー（小丸山寮生対象）4月～8月
- ② 学生食堂の水回りの損壊により運営中止
- ③ 校内の一部洗面所の使用不可
- ④ 図書室の棚および蔵書本の未整理のため使用不可

<学年歴>

- ① 入学式は全員参列で例年通り実施 4月
- ② 石川県障がい者スポーツ大会にボランティアスタッフとして参加 5月
- ③ 県内の各種専門学校が一同に集まっの球技大会への参加 6月
- ④ 学校祭の実施 10月
- ⑤ 後期国家試験対策→大雪のため1週間オンライン講義で実施 2月初旬
- ⑥ 卒業式は全員参列で例年通り実施

なお、講義及び学内における実習系は感染対策を十分に行った状況下で通常通り実施した。また、濃厚接触者対応や大雪などの天候不良時により登校が制限された学生に対してはオンラインでの対応を行い、欠席とならないよう配慮し実施した。

【意見・質問】

震災後に可能な範囲で教育ができる環境を整えて実施できていることがわかり安心した。

学生寮の修繕は不可欠であるとの意見を頂いた。

2. 各学科の報告について

【理学療法学科】

① 各学年の在籍者数（4月時点）と進級予定者数（3月時点）／卒業生数について

	在籍者（4月時点）	進級予定者・卒業生（3月時点）
1 年生	16 名（新入生） →4 名退学 *退学の3名は基礎学力や社会性が低いことが理由、残り1名は進路変更によるもの。	12 名進級
2 年生	21 名 →3 名退学	18 名進級
3 年生	19 名 →1 名休学	18 名（卒業生）
総数	56 名 →49 名（休学者1名含む）	30 名（1 年生・2 年生進級） 18 名（卒業生）

② 国家試験自己採点結果による合格見込数と就職内定状況について

受験者数 18 名（今年度は未受験者無し：出願判定試験の基準を満たさなかった場合）

合格見込数 15 名／18 名 【83.3%】

就職内定状況 12 名／18 名 【66.6%】

*合格見込者 15 名のうち 11 名は就職内定、4 名は就活中

*合格見込困難な 3 名のうち 1 名は就職内定を貰っていた為、先方に連絡し、その後の対応待ち、残り 2 名は科目等履修生となる予定
備考：令和 6 年度科目等履修生 3 名の内 2 名が合格となった。

今年度は例年通りの国家試験対策講座を開講し、主に実地問題の対策に取り組む時間を確保して実施した。結果、得点率の平均が約 70%（200 点／280 点）であり、一

定の効果があったと思われる。しかしながら、合格見込困難な学生については実地問題の得点率約 60%であったが、基礎分野の得点率が 50%台と低く、基礎固めが改めて重要であること再認識させられた。臨床における意思決定を必要とする想定問題が多くなっており、今後は臨床実習において現場で行われている科学的根拠に基づく臨床判断能力を高める教育が必要である。また、例年通り Out put する機会を多くして対策は継続する必要がある、在学生の 1 年生・2 年生には、臨床推論を中心とした考えを Out put する環境を学内でいかにして提供し、問題解決能力をアップさせる指導が引き続き必要である。

③ 臨床実習関連

- ・ 臨床実習指導者会議は昨年度と同様にオンラインによる開催
- ・ 3 年生の総合臨床実習（8 週間を 2 回）は 4 月～10 月の期間に計画通り実施
- ・ 2 年次臨床評価実習（4 週間）および 1 年次臨床見学実習（1 週間）は 1 月～3 月の期間に計画通り実施

【意見・質問】

- ・ 不合格者に対してのフォローについての質問を頂き、科目等履修生として対応していると説明を行った。
- ・ 引き続き、人間性豊かな人材の育成に努めてほしいとの意見を頂いた。

【救急救命学科】

① 各学年の在籍者数と進級予定者数／卒業者数について

1 年生：在籍者数	6 名
進級予定者数	6 名
2 年生：在籍者数	9 名
進級予定者数	9 名
3 年生：在籍者数	13 名
卒業者数	13 名

② 国家試験自己採点結果による合格見込数と就職内定状況について

受験者数	13 名
合格見込数	13 名／13 名 (100%)
就職内定状況	13 名／13 名 (100%)

*4 月～7 月にかけて公務員対策講座として東京アカデミーに講師依頼をして実施した。全国統一模試を 4 度実施し現在地の把握をして、各々に足りない部分の対策をすることが出来た。今後は試験勉強だけではなく、体力も重要な試験項目であることから、体力錬成の指導も充実させたいと考えている。(今年度は消防希望者全員が公務員試験の合格を果たしている)

*国家試験対策として今年度は3 年生と 2 年生とのグループ学習を取り入れて実施した。3 年生は学習した内容を 2 年生にアウトプットすることにより知識の定着を目指し、2 年生は早期から国家試験を意識させることが目的である。その他、集中講義の実施、基礎知識を確認するための試験を作成し、追い込み資料として配付して対応した。

結果、今年度は全生徒が合格ラインへの到達が例年よりも早く、余裕を持った対策が功を奏したと考える。次年度は、より早期から対策を施した生徒らが最終学年となるので、より早い段階で合格ラインへ到達することを期待している。

*例年、姉妹校 3 校合同による模擬試験を 2 回実施している。3 校の最終学年が試験を受け、3 校の生徒内の順位および現在の状況を把握することができる。その都度、学習指導の指標となるため、今後も継続して実施していく予定である。

(今年度は、2 度の合同模試を実施したところ、七尾校の平均得点は 3 校中、2 回ともトップの成績であった。)

また毎年、J E S A (全国救急救命士教育施設協議会) 主催の全国統一模試を実施している。同じ時期に国家試験を受験する各校の最終学年が受験する模擬試験であり、結果を共有することで各々の現在地の確認、そして今後の対策をすることが出来る有意義な模擬試験である。(今年度は、全国の加盟校の中で受験した 4 0 校 (大学、短大、専門学校) の中で七尾校の平均得点は全国 3 位の成績で

あった。)

今後は、各時期の到達状況を客観的に比較できる環境を整えることで、学生にとって良い刺激や目標設定の手助けをしていきたい。

③ 主な校外活動内容

- ・能登半島地震ボランティアとして参加
- ・J E S A主催西日本学生選手権に出場
- ・3次救急病院におけるトリアージ訓練に参加
- ・解剖実習への参加

能登半島地震発災後、地域の復興活動は現在も続いており、希望学生による地域ボランティア活動を継続している。また発災直後から国土舘大学のボランティア団体が七尾市内で何度も活動されており、本学の学生も、そのボランティアに参加させてもらっている。国土舘大学の学生とボランティアを経験することにより、災害現場での貴重な経験及び活動を実施することができ、また学生交流にもつながっている。

例年参加している市民マラソン行事が今年度も中止となった。救急関連行事は、学生にとって貴重な現場経験となるとともに同時にモチベーションアップにも繋がる重要な役割を担っているだけに、参加できなかったことは非常に残念であった。

毎年、姉妹校である千葉校と合同で東京歯科大学にて解剖実習に参加している。解剖実習を受け入れる学校が搾られている中、本物の御献体を見学することにより、人間の形態と機能について学びを深めることが出来る貴重な実習である。

④ 臨地実習関連 *実施内容は以下の通り

消防系	1年次	救急車同乗見学実習	令和6年12月16日～12月20日 令和7年3月3日～3月7日	平日の日勤帯 5日間実施
-----	-----	-----------	------------------------------------	-----------------

	2年次	救急車同乗体験実習	令和6年9月9日～9月20日	平日の日勤帯 9日間実施
病院系	2年次	臨床見学実習	令和7年2月12日～2月26日	平日10日間実施
	3年次	臨床体験実習	令和6年5月8日～5月28日	平日15日間実施

【意見・質問】

- ・病院救命士のアピールをもっとしたほうがよいとの意見を頂いた。
- ・合格率および就職率が高いため、地元および在学生の母校に情報をつたえることが必要であるとの意見を頂いた。
- ・夏に実施している学びフェスタのような小学生も視野に入れた広報活動を積極的に行う必要性があるとの意見を頂いた。

3. 学生募集と成果（令和7年度入学見込み者数など）

☆学生募集と成果

【入学見込み者数】

2025 年度入学者見込み数（PT：12 名 EMT： 8 名 計： 20 名）

2024 年度入学者数 （PT： 16 名 EMT： 6 名 計： 22 名）

【高校訪問】

計 235 回訪問

石川県・富山県・福井県のほぼすべての高校

岐阜県・長野県・滋賀県の偏差値帯低中間層、比較的石川県寄り、入学実績がある高校

3～4 月と 7～8 月に訪問し、新年度挨拶、進路動向、オープンキャンパスへの促し、新入生のお礼、卒業生の進路報告を行った。

その他資料請求等があった場合には教員との電話での面談も実施
出願時にも訪問を行う

【ポータルサイト】

リクルート、マイナビのサイトにて学校紹介ページ、資料請求・オープンキャンパス
導線、先輩紹介ページを掲載

【ガイダンス】

計 41 件参加（同日に学年別ガイダンスも含む）

ライセンスアカデミー、さんぽう、キッズコーポレーション、マイナビの 4 社での開
催のガイダンスに参加

総参加者数 185 名 うち来校者数 9 名

石川・富山の高校ガイダンス・会場ガイダンス 岐阜県の会場ガイダンスに参加

石川県 23 件 富山県 17 件 岐阜 1 件

福井県のガイダンスは依頼がほぼなく、1 件の会場ガイダンスは声がかかったが過去
の実績から不参加

会場ガイダンス用の販促物（椅子カバー、テーブルクロス）作成

その他、高校での進路指導講座・面接指導・模擬面接官などの依頼が 4 件

【SNS】

Instagram・Facebook に理学療法学科・救急救命学科・七尾校の 3 つのアカウント

投稿数 Instagram 理学療法学科 96 件 その他タイムライン、ショート動画

Instagram 救急救命学科 21 件 その他ショート動画

七尾校 Facebook 42 件 ※理学の Instagram は Facebook と連動している

アクセス数 理学 Instagram 直近 3 カ月 15,000 ビュー

【雑誌掲載】

日本医療企画 医療・介護・栄養のお仕事まるわかり事典 2024 50,000 円

総資料請求数 1352 件

【意見・質問】

- ・ガイダンスはマストであるため、今後も継続していくことが重要との意見を頂いた。
- ・県内外への広報活動の実際を知れてよかった。高校生の認知度をいかに上げるかが課題であると思う。
- ・SNS 戦略をもっと駆使して広報活動を行い、入学者数の増加につなげてほしい。

4. 自己点検・評価書の総評

特段意見・質問なし

以上